

EARTHDAY FESTIVAL in CHOFU

江戸から学ぶ粋(ECO)なくらし

2010アースデイin調布

5月8日(土) 10:00~16:00

■会場:調布市庁舎前広場

後援 調布市/調布市教育委員会/調布市農工会/(社)調布青年会議所/調布市公立学校PTA連合会

ミュージシャンの楽しいライブ
おいしい屋台がいっぱい

調布で何かが始まる。。。詳しくはホームページで
<http://www.earthday-chofu.sakura.ne.jp>

世界中で取り組み始めた「CO2削減」への動き。地球環境の保全は待ったなしの状況です。

2010年アースデイin調布は世界の歴史からみても理想的なエコロジーの町だったという「江戸」の智慧を紹介し、多くの人に生活の身近なところで実践してもらえるような「展示」・「ワークショップ」を展開します。

未来の食卓

食卓から始まった小さな奇跡が、人々の幸せを紡いでいく
南フランス・バルジャック村の1年間を描きオーガニックブームを巻き起こしたドキュメンタリー！！

映画「未来の食卓」上映会 (上映時間 112分)

日時 5月8日(土) 1回目 開場 10:30 上映 11:00
2回目 開場 13:30 上映 14:00
3回目 開場 18:00 上映 18:30

特別講演 16:00~16:45 「食が子供たちの健康な未来を創る」
(金丸弘美氏 [食環境ジャーナリスト])

会場 文化会館たづくり8F 映像シアター (調布市庁舎ヨコ・調布市小島町2-33-1)
上映資料代 前渡し 800円 当日 1000円 小中学生 500円 (前渡し・当日ともに同じ)
幼児 無料

主催 2010アースデイin調布実行委員会
申込み 〒182-0026 調布市小島町2-35-1 調布市職員労働組合内
FAX: 042-489-1997 E-mail: NQF04862@nifty.com

同時開催
自主上映



同時開催
特別講演



【協力団体イベント紹介】
第21回調布親子まつり
~楽しくJoin!~

2010年5月9日(日)
10:00~16:00

調布市庁舎前庭&文化会館たづくり
雨天決行! 参加費無料

※一部例外あり
調布親子まつりにはいろいろな工作やあそび、読み聞かせ、和太鼓や合唱、ダンスなどの舞台と笑顔の素がもりだくさん!
子どももお母さんもお父さんも赤ちゃんもおじいさんもおばあさんもお兄さんもお姉さんも楽しい調布親子まつりにいっしょーい!

☆児童館こどもスペシャルイベントと同時開催☆

連絡先
西村久子 090-1431-1511
橋本文子 042-407-5279
HPURL <http://oyakomatsuri.com>

未来の食卓

「食」への思いが、今、日本に上陸!!
お金より命が大切だと
南仏の小さな村から始まった奇跡の物語!!



食卓から始まった小さな奇跡が、人々の幸せを紡いでいく

南フランス・バルジャック村の1年間を描きオーガニックブームを巻き起こしたドキュメンタリー!
美しい自然に囲まれた南フランス、バルジャック村。ショーレ村長は子供たちの未来を守るため「学校給食と高齢者の宅配給食をオーガニックにする」という前例のない試みに挑戦しました。大人たちは「オーガニックは値段が高いのに、村の財政でまかなえるのか」と戸惑っていましたが、オーガニック給食や学校菜園での野菜作りを通して自然の味を覚えた子供たちに巻き込まれ、小さな村は少しずつ変化していきます。(でも、すべての子供が野菜好きになるには、時間がかかります。フライドポテトが大好きな低学年のフィリップは、まだ抵抗しています!!)

子供たちの未来を考える「おいしい」オーガニックライフのススメ

映画の冒頭、ユネスコ会議での「あなたの周りに、がんや糖尿病にかかった人はいますか?」という健康科学研究者の問いかけに、出席者のほとんどが挙手しました。ヨーロッパでは、癌や糖尿病などの生活習慣病の70%は食習慣を含む、環境に原因があると言われています。あなたはこの数字をどのようにとらえますか? 地球の温暖化、環境破壊による農業のあり方と食生活が密接に関係しています。この映画は、有機栽培農家と一般農家との対話や、家族を癌で失った主婦の体験を通して、私たちでもできる新しい生活を見せてくれます。

「美こそ世界を救う」に込められた ジャン＝ポール・ジョー監督の想い

「環境問題を考えたとき世界を変えていくには、子供たちと母親、そして未来の母親である女性の存在が大きいと思います。この作品を作るにあたって私は最後に希望を必ず残したかったのです。今すぐに行動すれば希望は失われないという希望です。ドストエフスキーはこういいました「美こそ世界を救う」と。この作品は自然の美しさへのオマージュです。そして自然の美しさを守る事が子供たちの未来を守る事だと私は信じているのです」

未来の食卓 公式サイト <http://www.uplink.co.jp/shokutaku/index.php>

16:00~16:45 「食が子供たちの健康な未来を創る」

講演: 金丸弘美氏 [食環境ジャーナリスト]

地域に根付いた食文化を再発見し、各地の元気をネットワークをすることを実践の場から発信しています。「食からの地域再生」「食育と味覚ワークショップ」「地域デザイン」をテーマに全国の地域活動のコーディネート、アドバイス事業、取材および執筆。また各行政機関と連携した食からの地域創り、特産品のプロモーション、食育事業のアドバイザーとして活動。2008年からの総務省地域力創造アドバイザー事業、農林水産省ブランド支援事業プロデューサーを、2009年から内閣府地域活性化広域連携推進部推進官として、行政機関のアドバイザー、コーディネーターなどを始め、大学、小中高までの授業、実践までを行っています。とくに食のテキストづくりから行う食のワークショップが好評です。

アースデイは「地球を考える日」

アースデイin調布は今年で第20回を迎えます。
アースデイとは1970年4月22日アメリカの学生の呼びかけがきっかけとなり「地球のために行動する日」としてスタートしました。1990年には世界各国に呼びかけられ2億人が参加。日本でも全国200ヶ所、1000を超えるグループや個人が参加する大きなイベントになりました。
その後、世界的に環境問題が緊急課題として取り組みられ1997年「京都議定書」が締結されましたが、当面、目標をクリアするのは困難な状況です。しかし、環境問題への取組は「まったなし!」です。「地球」からの恩恵を世界の次世代の人々が享受できるように努力するのは私たちの責任です。
調布アースデイは1990年恩恵を放つ「野川」をきれいにしたい!という地元の問題からスタートしました。「食の安全」「水」「ごみ」「ダイオキシン」「原発」「人権」「平和」などのテーマを設定して、地域の環境問題に取り組むグループ、福祉作業所、自主保育グループ、NGO/NPOで活動している人たちが集まって運営しています。このイベントを通して「私たちの暮らしは世界の環境問題に密接に関係している」ことを伝えられたらと思います。アースデイを通して「私にできるも地球にやさしい事」をそれぞれ見つけてください。

お問い合わせ・お申し込み
アースデイin調布実行委員会
調布市小島町2-35-1 調布市職員労働組合内
FAX: 042-489-1997
Mail: NQF04860@nifty.com
<http://www.earthday-chofu.sakura.ne.jp>

EARTHDAY in 調布

会場 MAP

① まめちょ *ちびっ子プレイパークの会
「まめちょ」「ちびっ子プレイパーク」の活動紹介・布ナプキン・羊毛小物販売
●江戸コーナー 「甘酒について」

② クブクブ・ホリスティックアロマセラピーサロン
ハンドトリートメント・オーガニックのタオルや化粧水の販売
●江戸コーナー 「江戸時代の着物に学ぶ【体の知恵】」

③ 社会福祉法人 調布を耕す会
活動紹介と生乳で作ったアイスクリームの販売
●江戸コーナー 「組むも」

④ ちょうふ環境市民会議
活動紹介・花袋などの販売
●江戸コーナー 「江戸のお百姓さんの生活」

⑤ 環境まちづくり NPO エコメッセ
和服をリメイクした小物の販売
●江戸コーナー 「お手玉の実演と販売、江戸時代と現代の汚水処理」

⑥ ポピーの家
和紙クラフト・フィリピンの紙製品の展示販売
●江戸コーナー 「未来へ繋がるリサイクル」

⑦ 留学生交流会はなみずき
フリーマーケット・串団子・チヂミ販売
●江戸コーナー 「江戸時代の箸の使われ方の展示」

⑧ ピナット
活動紹介、フィリピン料理と民芸品の販売
●江戸コーナー 「てぬぐい=歴史と使い方」

⑨ みさと屋
オーガニックの八百屋のご飯
●江戸コーナー 「深川飯」

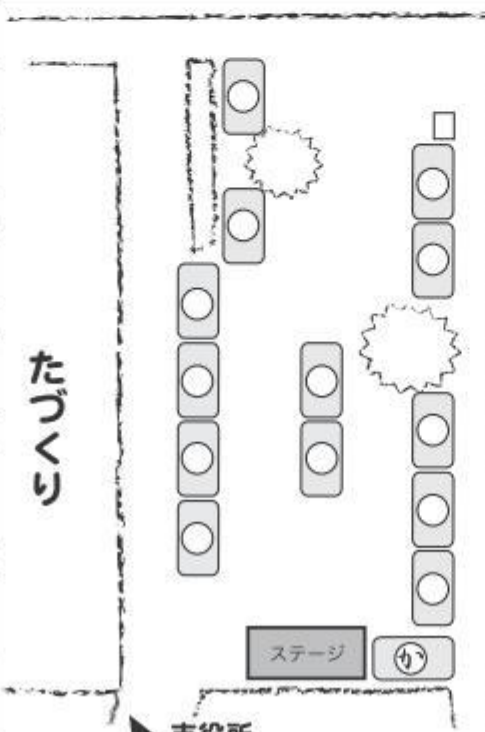
⑩ カリス成城
ハーブティー・シーズニングソルトなどのハーブ食品やアロマを使用した自然由来の虫除けやジェルの紹介。
●江戸コーナー 「江戸の“食”・江戸時代、肉は薬だった・江戸のグルメ・江戸の流通・江戸の安売りやクーポンに関して」

⑪ CHAY HANE ドネルケバブ
中近東イスラム圏の人々が食するケバブ、イスラム文化と信州ベジタリアンケバブの紹介
・長野県より特別の初参加

⑫ リサイクル館
リサイクル館はリユース（再利用）を目的として、粗大ごみから再生可能な家具などを手直しして販売。

⑬ 郷土博物館
調布市郷土博物館より「江戸」の庶民の暮らし、展示と特別講演
●江戸コーナー 「江戸時代の特別講演」

⑭ 本部テント
アースティ in 調布 町奉行
●江戸コーナー 「江戸のリサイクルについて」



江戸から学ぶ粋(ECO)なくらし

今年の「アースティ in 調布」のテーマは「江戸時代」。
鎖国体制にあった江戸時代。食料自給率はもちろん100パーセント。しかも、当時世界で最も人口の多い100万人都市であった江戸は、ほとんどゴミを出さない、世界に誇るリサイクル都市でした。電気も石油もない時代なのに、情報、技術、物流が整い、人のつながり、粋、しゃれ心に満ちていた江戸。
食料自給率、こみ、エネルギー等の問題が深刻化する一方の現代において、江戸の暮らしが再評価されてきています。
江戸の庶民の暮らしを覗いてみることで、私たちのエコな暮らしのヒントが見つけれられたらという企画です。



ステージイベント ※出演者は変更する場合があります。

ステージでは、アースティ in 調布の出店者の紹介や、楽しいライブを予定しています。
世界中の様々な音楽を楽しんでください！

MIX(みっくす) (フォークグループ)



<http://folkmix.web.fc2.com/>
MIXは、「雑種」の意味

1970年代東京中心の高校生を中心にのべ約300人の個人やフォークグループが所属していたフォーク集団「FOLK MATE」に所属し活動していたバンドの面々が、約30年のブランクを経て、オヤジバンドとして再結成。現在仕事と趣味を両立させながら、数々の場所でのライブやコンサートで活動中です。

ケサーチャ・アギーボ (フォークローレ)



フォークローレ(中南米の音楽)を中心に練習しているのが40代〜60代の6人グループです。毎週木曜日の夜、三鷹市野崎の静かな住宅地にある「スペースはちのこ」保育園の部屋で練習しています。

アンデス諸国とその周囲に暮らす人々の音楽「フォークローレ」。この音楽の代表曲といえば名曲「コンドルは飛んで行く」を挙げる方が多いでしょう。ケナの妻でどこか悲しげで牧歌的な旋律は私達が思い描く遠いアンデスの情景、遥かな大地、霧に覆われた山々、厳しい自然に暮らす人々、インカの悲哀…これらのイメージを心に描き、ひとときフォークローレの音楽をお楽しみください。

TempoAmor テンポアモール (ボサノヴァ)



2005年10月から千葉奏子(Vo)、飯田浩史(Gt)のデュオユニットとして都内ライブハウス・レストランにてライブ活動しています。スタンダードなボサノヴァを中心に聴き心地の良い演奏をお届けします。アースティ in 調布では2回目の出場。